

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年1月9日(2025.1.9)

【公開番号】特開2023-100402(P2023-100402A)

【公開日】令和5年7月19日(2023.7.19)

【年通号数】公開公報(特許)2023-134

【出願番号】特願2022-1054(P2022-1054)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 651

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月25日(2024.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、  
スタートスイッチの操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリール  
を回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作  
された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手  
段と、

特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段と、

当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段と、

演出を実行する演出制御手段と、

を備え、

30

複数のリールは、第1リール、第2リール、および、第3リールを含み、

前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別が複数種類存  
在し、

複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、

前記第2リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種  
別と、前記第3リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当  
選種別とが存在するが、前記第1リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様  
となる前記選択当選種別は存在せず、

前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対  
してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役が入賞するように前記  
リールを停止制御し、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態  
様のうち、前記第1リールを最初に停止させる第1の不正解操作態様で停止操作が行われ  
た場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役  
が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、

前記不正解操作態様のうち、前記第2リールまたは前記第3リールを最初に停止させる  
第2の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1遊  
技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役が入賞する場

40

50

合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、

前記演出制御手段は、

特定操作を示唆する情報を記憶部に保持し、

全ての前記ストップスイッチに対して操作が行われた後に、確認操作に応じて、前記情報を報知することが可能な遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

10

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段（例えば、当選種別抽選手段304）と、スタートスイッチ（例えば、スタートスイッチ118）の操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリール（例えば、リール110）を回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段（例えば、リール制御手段306）と、特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段（例えば、段落35、36に記載された補助演出実行手段）と、当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段（例えば、払出制御手段310）と、演出を実行する演出制御手段（例えば、演出制御手段334）と、を備え、複数のリールは、第1リール（例えば、左リール110a）、第2リール（例えば、中リール110b）、および、第3リール（例えば、右リール110c）を含み、前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別（例えば、段落48、55、56、図6に記載された当選種別「打順ベル」）が複数種類存在し、複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、前記第2リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落55、56、図3、5、6に記載された当選種別「打順ベルA1」）と、前記第3リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落55、56、図3、5、6に記載された当選種別「打順ベルA3」）とが存在するが、前記第1リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別は存在せず、前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役（例えば、段落55、56、図3、5、6に記載された当選役「小役1」、「小役2」、「小役5」、「小役7」）が入賞するように前記リールを停止制御し、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態様のうち、前記第1リールを最初に停止させる第1の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落55、56、図3、5、6に記載された当選役「小役38」、「小役37」）が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、前記不正解操作態様のうち、前記第2リールまたは前記第3リールを最初に停止させる第2の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落55、56、図3、5、6に記載された当選役「小役25」、「小役21」）が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、前記演出制御手段は、特定操作（例えば、第1停止操作）を示唆する情報を記憶部に保持し、全ての前記ストップスイッチに対して操作が行われた後に、確認操作に応じて、前記情報を報知することが可能である。

20

30

40

50